「校長室の窓から」

令和８年（2026）４月 27 日（月）
第８号　　発行：隈元（くまもと）　優一（ゆういち）

４月２４日（金）　育友会役員会

先日、育友会の役員の皆様にお集まりいただき、役員会が開催されました。ご多忙の中、本校のためにお時間をいただいたことに、心より感謝申し上げます。

会では、学校生活や行事の在り方について意見交換を行う中で、子どもたち一人ひとりの思いや状況に目を向けた、多くの温かいご意見を頂戴しました。校長として、「温かみのある生徒に寄り添う支援」こそが、これからの学校に求められている大切な姿勢であると、あらためて強く感じました。

生徒はそれぞれ異なる個性や背景、不安や悩みを抱えながら学校生活を送っています。だからこそ、学校は一律の指導だけでなく、生徒の声に耳を傾け、安心して過ごせる環境を整えることが重要です。そのためには、学校と家庭との信頼関係に基づいた連携が欠かせません。

今回の育友会役員の皆様との対話を、今後の教育活動にしっかりと生かし、教職員一同、生徒一人ひとりに寄り添った支援を丁寧に積み重ねてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

夜間送迎時の入構・退構について（お願い）

夜間の送迎時につきましては、学校へ向かって左側の通用門から入構し、右側の正門から退構する順路での通行をお願いしております。しかしながら、最近、一部に正門から入構し、通用門から退構する逆走が見受けられるとの報告がありました。このような通行は、歩行者や他の車両との接触の恐れがあり、大変危険です。

生徒の安全確保のためにも、必ず決められた順路を守って通行していただきますよう、改めてお願いいたします。皆様のご理解とご協力が、安全で安心な学校環境につながります。何卒よろしくお願いいたします。

▲　藤棚の花

〈コラム〉季節の移ろいの中で

桜の花もいつの間にか葉桜へと姿を変え、構内の色彩はやわらかな緑へと移り変わってきました。来週末にはもう５月を迎えると思うと、あらためて季節の移ろいを感じます。

先日、昼休みにグラウンドを眺めていると、ちょうどグラウンド入口付近の藤棚に藤の花が咲いているのが目に入りました。甘い香りに誘われたのか、カナブンが一匹、花のまわりを飛び回っていました。

その藤棚の木陰では、野球部の生徒一人と顧問の先生が並んでバットを手にし、黙々と素振りをしていました。新緑に包まれた静かな昼休みのひとときに、生徒と教員が向き合い、同じ目標に向かって汗を流す姿がとても印象的でした。